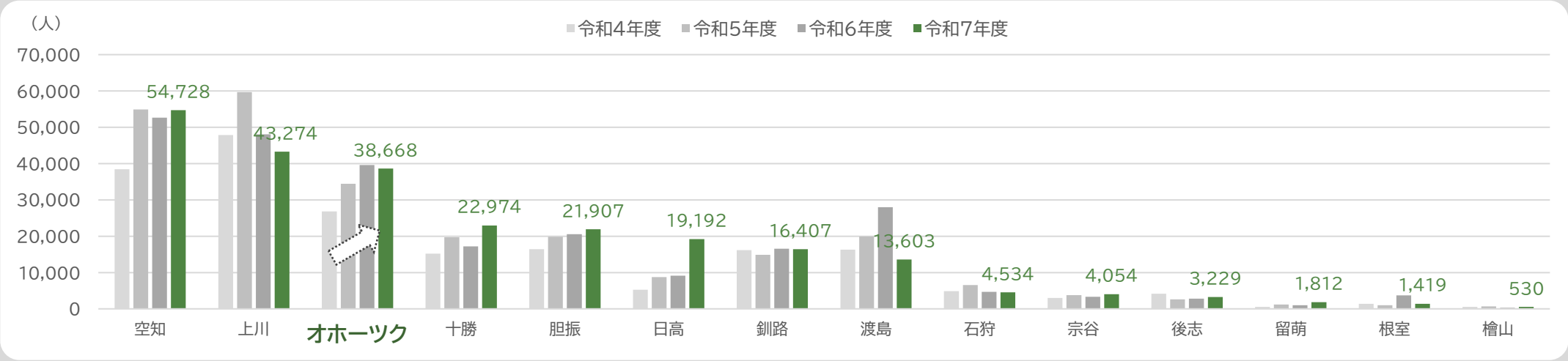
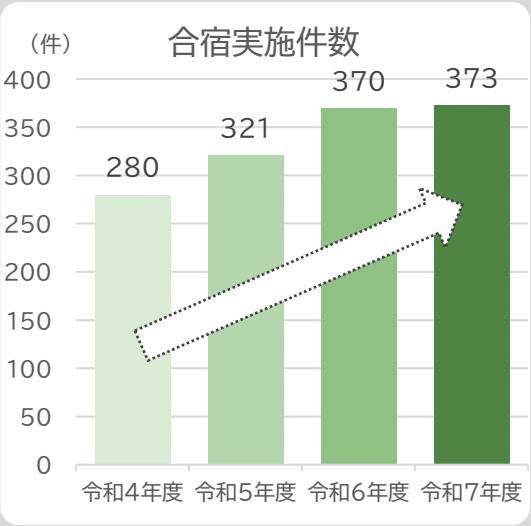
プロ・アマ問わず、近年、涼しい北海道の気候を求め、道内各地でスポーツ合宿の受入が進んでいる中、振興局別の合宿参加延人数、合宿実施件数を見ると、オホーツク圏はいずれも増加傾向にある。
また、合宿1件あたりの参加延人数を見ると、オホーツク圏は北海道全体と比べて合宿規模が大きいといった特徴がある。

■ スポーツ合宿参加延人数の推移（振興局別）



■ オホーツク圏の状況





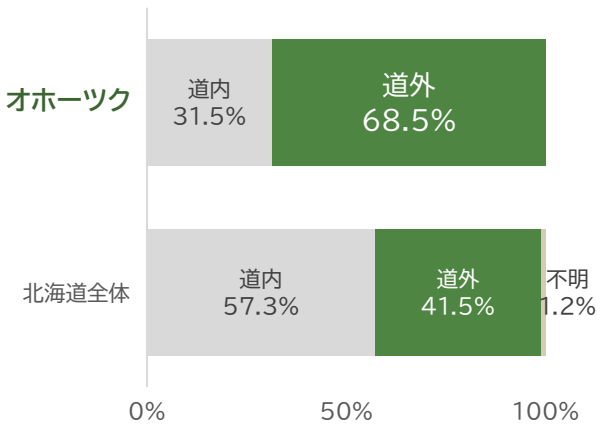
〉〉市町村スポーツ振興担当課からの声

- オホーツク圏は、夏季の涼しい気候、女満別空港や紋別空港からのアクセス、充実したスポーツ施設など、スポーツ合宿地としての好条件が揃っている。
- 同じ時期に合宿している他チームとの練習試合も組みやすく、場合によっては、市が仲介して、近隣市町村と連携して練習試合をセッティングすることもある。このように、他の自治体ともうまく連携できていることも、オホーツク全体で合宿が増えている一つの要因と考えられる。
- 人気のあるプロチームを誘致できると、ファンや報道陣も多く来訪することになるため、地元の経済効果がより一層大きくなる。
- 市内には大規模なスポーツ施設があることから、これまで以上に合宿を受け入れる余地はあるものの、市内に宿泊施設が少なく、宿泊先の確保が課題となっている。

出典：北海道HP掲載「北海道スポーツ合宿実施状況調査」

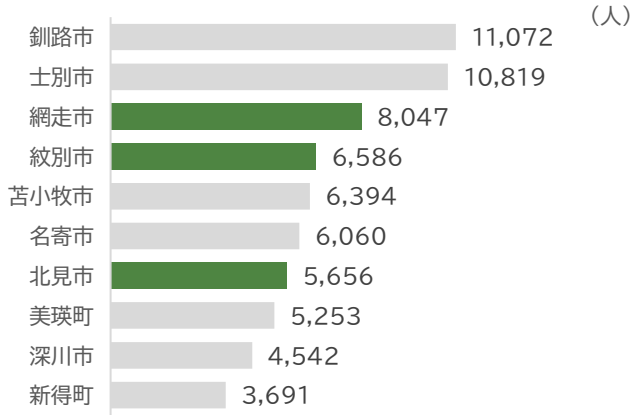
オホーツク圏の強み（令和7年度参加延人数の状況）

■ 合宿参加者の道内・道外構成比



オホーツク圏の合宿参加者の約7割は道外からの参加者となっている。

■ 道外参加者が多い市町村トップ10

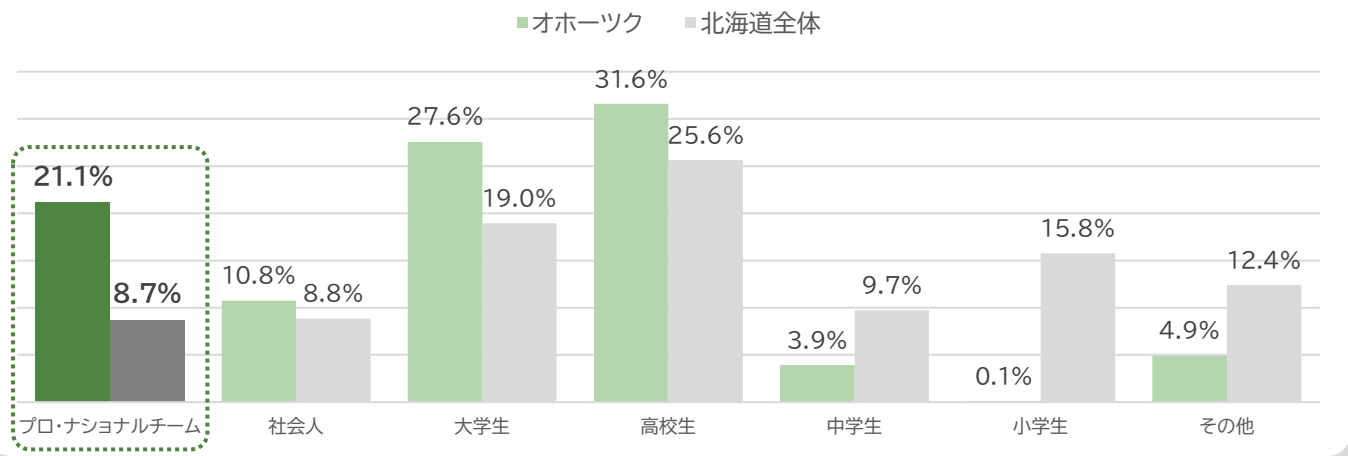


オホーツク圏から3市が全道トップ10に入っており、道外チームの主要な受入地域となっている。

〉〉市町村スポーツ振興担当課からの声

- 本州では、夏場は猛暑で、朝、晩しか練習できないことが多いが、オホーツク圏は冷涼な気候により、時間を問わず練習できる環境があることが、合宿地として選ばれている要因と考えられる。
- 毎年、道外の同じチームが合宿に訪れているが、合宿終了後すぐに受入側から来年のスケジュール調整を行うようにしており、常連チームとの良好な関係が構築できている。
- 従前から、航空機代、宿泊代及びレンタカー代の助成を行うなど、道外チームに対して積極的な誘致活動を行ってきたことが、結果として数字に表れてきていると考えている。

■合宿カテゴリーの構成比



オホーツク圏は、北海道全体と比べ、プロ・ナショナルチームの合宿が多く実施されている。

〉〉市町村スポーツ振興担当課からの声

- 当市では高校生の合宿も多く受け入れており、函館市や札幌市からの参加者もいる。高校生の合宿は、交流を一つの目的としていることが多いため、地元の高校との練習試合などが行われることが多い。
- プロ・ナショナルチームの合宿地に選ばれるためには、施設の芝が最も重要な要素となり、オホーツク圏の施設の芝は、プロからも高評価を得ている。
- プロ・ナショナルチームにおいては、食事管理が必要であり、ホテル側では栄養士と事前打合せを行ったうえで献立を考え、食事を提供するなど、ホテル側のサポート体制も充実している。

出典：北海道HP掲載「北海道スポーツ合宿実施状況調査」

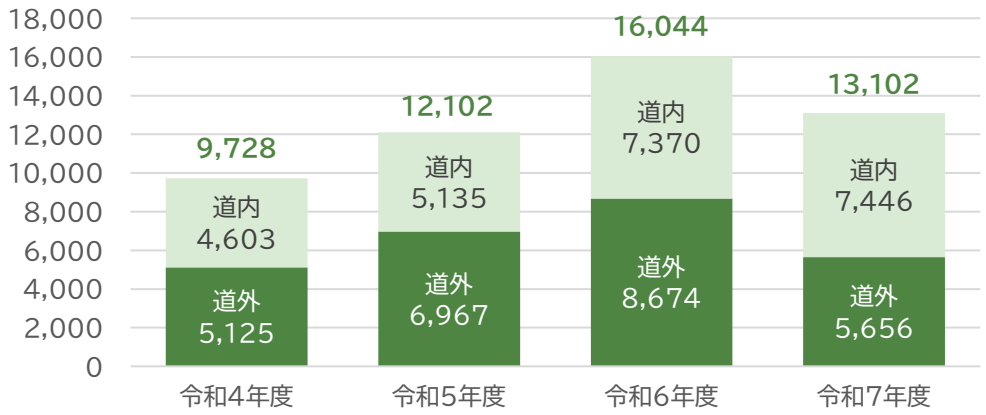
北見市と網走市の参加延人数の推移

北見市　～近年、道内チームが増加傾向

道内からの参加者が約6割

（人）

※各年度の人数は、北見市からの聞き取りによるもの。



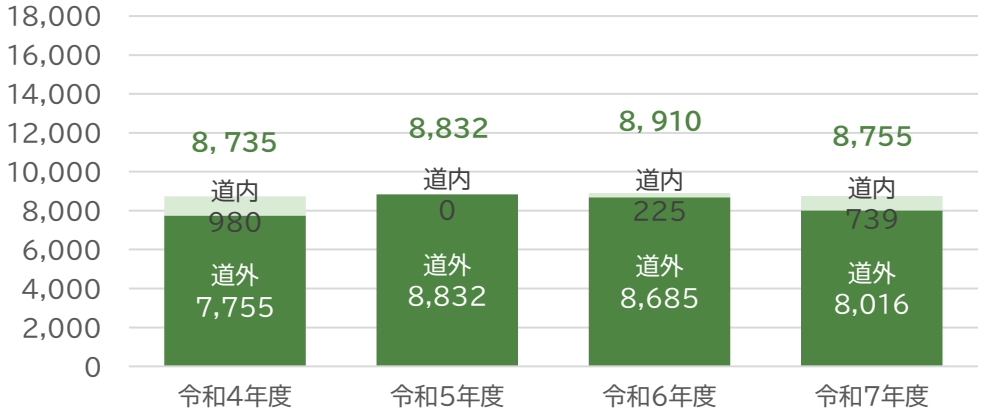

北見モイワスポーツワールド

網走市　～道外チームの受入に強み

道外からの参加者が約9割

（人）

※各年度の人数は、網走市からの聞き取りによるもの。




網走スポーツ・トレーニングフィールド